

三重看護学誌執筆要領

MNJ 編集部

1. 投稿する原稿は、未発表のものあるいは他の学術雑誌に投稿中でないものとし、原則として和文または英文とする。和文論文にも英文の題名をつける。
2. 原稿は、次の要領に従い、以下の番号の順に執筆する。記載がない場合は APA の最新版に準じる。

1) 表紙

表題（和文および英文）、著者名（和名の場合は英語併記）、所属（和名の場合は英語併記）を記述する。また、本文枚数（文献を含む）、図・表および写真等の枚数をそれぞれ明記する。

2) 要旨

和文（400 字程度）および英文（250words）とする。要旨の後には、5 単語以内のキーワード（Key words）をつける。但し、「資料」および「その他」の原稿では作成を任意とする。

3) 本文

- (1) 【原稿様式】原稿は、A4 縦置き、横組 1 段とする。余白は左右 25 mm、上 30 mm、下 20 mm とし、左辺に行番号、下辺中央にページ番号を付すこと。
- (2) 【原稿書式】原稿の作成には、原則としてワードプロセッサを用い、1 ページは 40 文字 40 行程度とする。本文で用いる書体は、原則として、和文に明朝体、英文に Times 体を用いて、文字サイズを 12 ポイントにする。見出しなどは必要に応じてゴシック体に変更し文字サイズを大きくしてもよい。
- (3) 【論文構成】論文の基本構成は、原則として、序論・研究方法・結果・考察・結論・謝辞・利益相反・文献とする。
- (4) 【図表様式】図、表、写真は適切な位置に配置する。図は、グレイ階調あるいはカラーで作成する。図番号をアラビア数字で連番に振り、図の下部にタイトルとキャプションを付けること。表も同様に、連番の表番号を振り、表の上部にタイトルをつけ、必要に応じて表注を付すこと。
- (5) 【略語】略語は、原則として、初出の際に正式名を記述し、括弧内に以降で使用する略語を記入し、略語の意味が理解できるようにする。
(例) 日常生活動作 (activities of daily living, 以降 ADL と記す)
- (6) 【文献記載】和文の文献を引用する際には、下記の例を参考にすること。

《記載例》

五味彩乃, 安積陽子, 中村真弥. (2021). 授乳に伴う乳頭損傷 7 所見への対処法. 日本母乳哺育学会雑誌, 15(2), 112-121. <https://doi.org/0000000000>

【単行本】

著者名. (発行年次). 書名(版数), 出版社名.

著者名. (発行年次). 章の表題, 編者名, 書名(版数), ページ数, 出版社名.

《記載例》

谷村晋. (2010). 地理空間データ分析. 共立出版.

季節子, 澤田貴志. (2015). 在日外国人の医療, 日本国際保健医療学会編, 国際保健医療学(第 3 版), pp.218-220, 杏林書院.

【翻訳本】

原著者名. (発行年次) / 訳者名. (翻訳書の発行年次). 翻訳書名 (版数), 出版社名.

《記載例》

ポーリット D.F., ベック C. T. (2004) / 近藤潤子. (2010). 看護研究 原理と方法 (第 2 版), 医学書院.

【オンライン文献】

著者名 (発行年次). ウェブページ名. ウェブサイト名. URL.

《記載例》

日本看護協会 (2015). 平成 26 年度保健師の活動基盤に関する基礎調査報告書. 平成 26 年度厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業.

<https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/senkuteki/2015/26-katsudokiban.pdf>

附 則

この規定の改訂は、令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

この規定の改訂は、令和 4 年 6 月 15 日より施行する。

この規定の改定は、令和 5 年 5 月 23 日より施行する。

この規定の改定は、令和 6 年 5 月 17 日より施行する。

この規定の改定は、令和 7 年 5 月 23 日より施行する。